

第7回（2年）

1. 日 時：令和5年7月12日（水）
13：30～15：30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ
大会議室
3. テーマ：「俳句に挑戦」
4. 講 師：永井 江美子先生
(現代俳句協会副会長)
5. 出席者 29 / 29名
6. 内 容

○事前に各自3句を提出した。講師が◎◎△の三段階で添削した句を投映し、一人の句を一句ずつ、それが描く状況や心情を聞き取りながら、丁寧に批評し、句の修正方針を具体的に示していただいた。

○季語は一つ必ず入れ、季重なりに注意する。情景や心情に合わせた言葉選びをする。文字の書き方、ひらがな・カタカナ・漢字の使い分けで印象が変わる。

○「に」と「の」の一文字の違いで、がらりと句の雰囲気が変わることもある。

○今回の講座で扱った作品をもう一度見直し、市民文芸まつりに応募してほしい。

7. 感 想

初めて俳句の作成にチャレンジしました。テレビで見ることがあり、身近な文芸として感じていましたが、いざ自分で作ってみると大変苦労しました。

講師の方の指摘や他の受講生の感じ方も様々で、短い文章でも、奥行きのある深さがあり、人間の表現活動の豊かさの一端に触れることができました。その意味で、私にとってとても有意義な講座でした。ここで受講生が披露した作品が、市民文芸祭りで選ばれることを期待しています。

